

世界の国を知る 🌍 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 **カンボジア王国** 



【表紙の写真】

左:「クメールの至宝」と称されているバンテアイ・スレイ遺跡の前で、はしゃぐ無邪気な子どもたち。

右:カンボジアでは、伝統的な高床式住居が基本!クーラーなんかなくて、涼しく快適。

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 こんな風に使えます!
- 05 なぜカンボジア王国?

第1章 カンボジアってどんな国?

= 不幸な歴史を背負い、輝ける未来へガンバル国 =

- 07 クイズ100人に聞きました!
- 09 カンボジア基礎知識入門
- 11 二度と繰り返してはダメ!
カンボジアの歴史にタイムスリップ
- 13 やっぱアンコール・ワット!?
- 17 カンボジアの日常生活をのぞこう!
えっ!?それって、ウソ?ホント?
- 19 プチフォト・ミュージアム

第2章 へえ～！カンボジアと日本

- 21 カンボジアと日本、似てるゾ!
この「民話」っ! この「ことわざ」っ!
- 23 カンボジアと日本 へえ～これって、ウソ?ホント?
- 25 ちょっとブレイク

第3章 一緒に考えよう！こんな課題

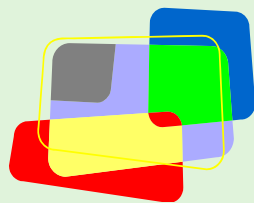
- 27 内戦の負の遺産 でも魅力いっぱいカンボジア
- 29 カンボジアのためにできること
～日本が行ってきた軌跡をたどって～
- 31 『幸せ』って何だろう?
- 33 プチ・フォトミュージアム

第4章 そして未来へ

- 35 『多文化共生社会』ってどんな社会?
- 36 号外! 号外! 20年後の新聞です
- 37 多文化共生社会と地球的課題

参考資料

- 39 目で見るカンボジア
- 41 カンボジア地図
- 43 参考文献・データ等の出典
- 43 ご協力いただいた方たち
- 43 2008年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

人の顔が見える教材をつくりたい！

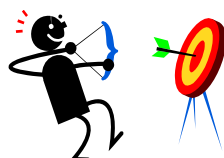
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、カンボジアのほんの一面です。本書だけでカンボジアのすべてがわかるわけではありません。カンボジアに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

使い方は自由です


とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。P.3～4に掲載した使い方の例を参考に、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。













カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



	参加型のプログラムです。 必要に応じてコピーし、配布してください。		プログラムで模造紙を使います。
	プログラムに関する説明です。 ファシリテーター・先生用です。		プログラムでマジックを使います。
	プログラムのねらいです。		プログラムで付箋を使います。
	ちょっとブレイク一口コラムです。		プログラムでA4用紙を使います。 裏紙等を活用してください。
	プログラムに使う資料です。 必要に応じてコピーし配布してください。		データ等の出典です。
	コピーし、カード等に切り離して 使ってください。		写真の撮影者です。

こんな風に使えます！

例えば、こんな使い方はいかがですか？

第1章 カンボジアってどんな国？ = 不幸な歴史を背負い、輝ける未来へガンバル国 =

P.7 クイズ100人に聞きました！

カンボジアを学ぶ学習の導入として使えます。正しい答えはなかなか出てこないと思いますが、正しい答えを求めることがねらいではありません。わたしたちは、1つの国を国全体のデータや象徴的なものだけで捉えがちです。それも大事なことです。それ以外のことは意外と知らないということに気づいて、「カンボジアっていったいどんな国だろう」と興味を持ってもらい、次の作業につなげるとよいでしょう。

①の地図は、日本が中心にありません。普段日本で使われている世界地図は、日本が中心になっているものが多いのですが、「極東の国」といわれるように、ほかの国では日本が右端になっている地図が多く使われています。これをきっかけに、世界で使われている様々な地図を調べてみるのもおもしろいでしょう。

P.9 カンボジア基礎知識入門

カンボジアという国名は知っていても、内戦のイメージしかなかったり、アンコール・ワットのことしか知らなかったり、どんな国なのか意外と知らないものです。このプログラムはカンボジアをざっくりと把握するためのプログラムです。他のプログラムの導入に使いましょう。

P.11 二度と繰り返してはダメ！カンボジアの歴史にタイムスリップ

国旗はいろいろな意味が込められていて、奥が深いものです。カンボジアの場合も、歴史にあわせて何度も国旗が変わっています。そんな国旗の変化を通して、カンボジアの歴史を学びましょう。そんな時代とともに変わった国旗にいつも描かれているのはアンコール・ワット。P.13のプログラムとつなげて、アンコール・ワットがカンボジアの人たちにとって、いかに大切な存在であるかを学びましょう。

P.13 やっばりアンコール・ワット！？

カンボジアを学ぶとき、やはりアンコール・ワットは欠かせません。ここでは、第一回廊のレリーフをテーマにアンコール・ワットに触れます。旅した気分楽しく盛り上げましょう。アンコール・ワットには他にもいろいろありますので、調べ学習で発展させてもいいでしょう。また、そんなアンコール・ワットも危機にさらされていることを学び、P.29のプログラムにつなげて、文化遺産を守る大切さについて考えてもいいでしょう。

P.17 カンボジアの日常生活をのぞこう！えっ！？それって、ウソ？ホント？

カードをバラバラにして、ウソかホントかに分けるプログラムですが、A4紙などで「ウソ・ホント」カードをつくり、一人ひとりでそのカードを掲げたり、教室などにウソコーナーとホントコーナーをつくり移動したりしても盛り上がるかもしれません。

第2章 へえ～！カンボジアと日本

P.21 カンボジアと日本、似てるゾ！？この「民話」っ！この「ことわざ」っ！

カンボジアと似ている民話やことわざを学ぶことによって、日本の民話やことわざのことも学べます。カードにして一人ひとりに配り、ペア探しをしても楽しいかもしれません。

P.23 カンボジアと日本 へえ～これって、ウソ？ホント？

P.17のプログラムと組み合わせても楽しいですね。

P.27 内戦の負の遺産 でも魅力いっぱいカンボジア

カンボジアというと内戦のイメージが強いですが、実は素敵なところがいっぱいある国です。そんなカンボジアの素敵なところに注目するとともに、日本にも素敵なところがあるということに気づきましょう。このプログラムを通して課題がいっぱいあっても、やっぱり自分の国が好きだと言える、そんな社会を自分たちが創っていくと思えるといいですね。

P.29 カンボジアのためにできること～日本が行ってきた軌跡をたどって～

国際協力というと、何となく先進国が途上国を「助けてあげる」というイメージを持ってしまいがちですが、実はそうではありません。このプログラムを通して、自分たちが社会を創っていくのだということに気づきましょう。プログラムを行う前に、それぞれ「国際協力」について調べてきてもらうとスムーズに進むかもしれません。

P.31 「幸せ」って何だろう？

幸せというのは、住んでいる環境など人それぞれで基準が違います。貧しいからといって幸せではないとは言えません。今の自分たちを見つめ直して、日本とカンボジアの将来について考えていきましょう。正解があるわけではないので、参加者が「ん？」という答えを出してもまずは受け入れ、理由を聞いてみましょう。そうしたやり取りや、普段考えないことを改めて考えるプロセスの中で、それぞれ気づくことがあるでしょう。

第4章 そして未来へ

P.35 「多文化共生社会」ってどんな社会？ / P.36 号外！号外！20年後の新聞です

導入としてもまとめとしても使えるプログラムです。どんな未来を目指して自分たちが生活していくのか考えるきっかけにしてください。いずれのプログラムも正解はありませんが、P.37の資料を参考に補足説明をしてください。

その他いろいろ

国際交流は楽しいものです。プログラムも楽しい雰囲気が進められるよう参加者に合わせた進め方にアレンジしてください。

プログラムは単独でも組み合わせても使えます。参加型のプログラムと情報提供の時間をうまく組み合わせましょう。プログラムをした後に留学生や青年海外協力隊OB / OGなどのお話を伺うと、より楽しくわかりやすいと思います。

4～6人のグループで行うとアイデアが出やすく、場も盛り上がります。ただ、流れや状況に応じて、個人作業や全員での作業を交えながらメリハリをつけるといいでしょう。

各プログラムの最後に「気づいたこと、わかったこと、感じたこと」などを聞くふりかえりの時間をとると、より理解が深まり、記憶に残りやすいでしょう。

P.43に参考文献、出典などを掲載しています。特にデータについては、最新のものを使っていただいた方がいいと思います。

カンボジア以外の国の教材も作成しています（P.5）。同じテーマを扱っている国もありますので、組み合わせるとおもしろいかもしれません。例えば、料理や学校の様子などはいろいろな国のものを合わせて比較すると楽しいですね！

慣れてきたら、グループごとに国を決めて子どもたちがファシリテーター役でプログラムを進めるのもおもしろいかもしれません。

なぜカンボジア王国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国防レンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国防レンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけでなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国防レンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。

そして、カンボジア王国のホームタウンは、幸田町でした。



：本教材
：2008年度教材作成の国
：2007年度教材作成の国
：愛知万博公式参加国

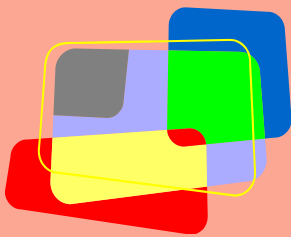
愛知万博 / カンボジア館



第1章

カンボジアってどんな国？

= 不幸な歴史を背負い、
輝ける未来へガンバル国 =



クイズ100人に聞きました！

① ところで、みなさんはカンボジアのこと、どのくらい知っていますか？

① 下の地図でカンボジア王国はどこでしょう？ この辺だと思ふところに印をつけよう。



② カンボジアと言えば何？ 人、物、イメージなど、何でもいいので思いつくものをできるだけたくさん挙げてみよう！

③ カンボジアで知っている都市の名前は？ いくつ思い浮かぶ？

④ 知っているカンボジア人と言えば？



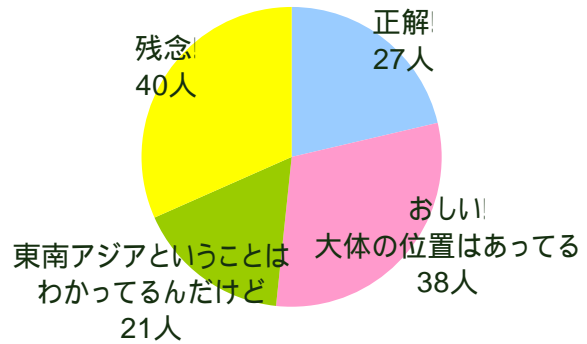
同じ質問を幸田町の中学生126人に聞きました。



まずは「知らないこと」に気づくことから始めましょう。

1. カンボジアはどこ？

ココです!



2. カンボジアってどんな国？

やはり一番多かったのは「アンコール・ワット」。続いて、「肌が黒い」「暑い」「かぼちゃ」「民族舞踊」などの答えが多かったです。他にはこんな答えが...

アンコール・ワット(63) / 肌が黒い(28) / 暑い(23) / 民族舞踊(17) / 幸田町と交流がある(12) / 貧しい(12) / 国旗が赤と青(8) / 地雷(7) / 紛争があった(4) / 明るい服装(4) / 世界遺産(4) / 明るい(4) / 手を合わせたあいさつ(2) / はだし(2) / タイに似ている(2) / 自然が豊か(2) / 雨が多い / 乾燥してる / 寒い / 仏像 / バナナ春巻き / 料理が辛い / アボガド / 果物 / ココナッツジュース / チーズ / 愉快 / 体が大きい / ターバン / 布の服 / 途上国 / 貧富の差がある / ゆったりしている / 治安が悪い / カラフル / いなか / シルクロード / 織物 / 学校が少ない / 子どもが仕事している / 王制 / 赤道の近く / コカイン / 自由の女神 など



プノンクロム山の前で、子供たちに「ハイ、ポーズ！」




カンボジアの子どもたちは、いつも大地と一緒。



やまもと まや

カンボジア基礎知識入門

 カンボジアの基本的なこと、知ってますか?『カンボジア』のいろんなことを知~っとこっ!?

各問題の A ~ C のうち、どれが正しいと思いますか。

1 『人口』について知~っとこっ!?

現在のカンボジアの人口は、日本と比べてどうだと思いますか?

- A 日本の1/10程度 B 日本とほぼ同じくらい C 日本の10倍くらい

2 『面積』について知~っとこっ!?

カンボジアの面積は、日本と比べてどのくらいの広さだと思いますか?

- A 日本の約半分 B 日本とほぼ同じくらい C 日本の2倍くらい

3 『気候』について知~っとこっ!?

カンボジアの気候について、次のうちどれだと思いますか?

- A 日本と同じ四季がある B 雨季と乾季の2季のみ C 季節の区切りがなく、1年中同じ

4 『産業』について知~っとこっ!?

カンボジアの主要な産業は次のうちどれだと思いますか?

- A 農業 B 縫製業 C 漁業

5 『社会問題』について知~っとこっ!?

カンボジアでは、長年にわたった内戦により埋められた地雷の取り除き作業が行われていますが、現在どのくらい地雷が残っていると思いますか?

- A ほとんど撤去できた B 農村地域で少し残っている C 数百万個くらい残っている

6 『教育』について知~っとこっ!?

カンボジアの教育制度は次のうちどれが正しいと思いますか?

ちなみに、日本は小学校6年・中学校3年・高等学校3年の6・3・3制です。

- A 6・3・3制(日本と同じ) B 6・4・2・1制 C 4・3・3制



カンボジアの子どもたち

学校に通うことがとても楽しみで、勉強したいという意思がとても強いのです。

ある村の男の子に「何をしてる時が一番楽しい?」とたずねたところ、「学校に来てる時。勉強が楽しいから。友達に



1 [A]

カンボジアでは、1998年3月に36年ぶりに人口センサス(国勢調査)が行われました。その後、2008年人口センサス(国勢調査)が実施されました。

【速報値】(調査時点2008年3月3日)

人口13,388,910人、男6,495,512人、女6,893,398人

【日本の国勢調査】(調査時点2005年10月1日)

人口127,767,994人、男62,348,977人、女65,419,017人

プノンペン、カンボジア 計画省統計局『カンボジア2008年人口センサス(国勢調査) 速報結果(暫定人口総数)』



2 [A]

カンボジアの面積: 約18万1000km²

日本の面積: 約37万8000km²

3 [B]

【カンボジアの気候】 熱帯性モンスーン気候

【特徴】 一年中高温多湿、気温は年間通じてだいたい20 から35、季節は雨季と乾季の2つの季節だけで、

5月～10月が雨季で大量の雨が降り、特に9月と10月は激しいスコールに見舞われます。11月～翌年4月が乾季で、1月と2月になると雨はほとんど降らず晴天が続きます。

ちなみに、カンボジアへの旅行に最も適した時期は、雨も少ないため湿度が低く、気温も比較的低い11月から1月になります。

4 [A]

カンボジアの主要な産業は農業です。

【特徴】 労働人口の約7割以上の人々が農業に従事。

農業の機械化が進んでおらず、外国へ農産物を輸出するまでには至っていません。最近では観光業などのサービス業や縫製などの製造業が急成長しています。

GDP(国内総生産)の産業別シェア(2005年): サービス業37.0%、農林水産業32.4%、工業25.3%

5 [C]

現在カンボジアが直面している大きな社会問題の一つが地雷の問題です。これは長年にわたった内戦の遺産です。カンボジアでは1970年以来、20年以上にわたって推計400～600万個におよぶ大量の地雷が埋設されました。地雷除去は1992年のカンボジア地雷対策センターの設立により開始されましたが、これまでに除去された地雷は十数万個に過ぎず、今なお西部を中心に何百万もの地雷が残されています。ちなみに、これまでカンボジアで地雷を被災した人は4万人に及ぶとされています。...とても悲しい現実です。

6 [A]

[B] は、カンボジア独立以降のフランスを手本とした教育制度

[C] は、ポル・ポト政権崩壊後、短期間に人材を養成する必要があったため導入された教育制度

カンボジアが、現在の日本と同じ6・3・3制を導入したのは、内戦が終結し、新生国家が誕生した後の1996年以降のことです。義務教育は、憲法上は日本と同じ9年間ですが、家庭の事情などにより学校に通えなかったり、寺子屋で勉強している子どもたちもいます。カンボジア全体の就学率は、小学校90%、中学校25%、高等学校10%未満です。(都市部と地方でもかなりの格差が見られます。) 2005年教育・青年・スポーツ省『教育統計・指数』授業は、午前の部と午後の部の2部制が多く、これは学校設備と教師が不足しているためです。

会えるのも嬉しいよ、毎日学校に来られたらいいなあ。」と元気よく答えてくれます。

子どもの教育の充実が、カンボジアの復興にとってとても重要であることが分かります。

二度と繰り返してはダメ！カンボジアの歴史にタイムスリップ

🔍 カンボジア国旗は、その歴史の中で政治体制の変化にともなって、その都度作りかえられてきました。次の政治体制のとき、それぞれどの国旗を使っていたでしょうか。線で結んでみましょう。

1 1863年～1948年
フランス統治時代
フランスとの間に保護国条約を締結し、フランスの植民地となっていました。

2 1948年～1970年
カンボジア王国独立時代
シハヌーク国王のもと、1953年に完全独立しました。

3 1970年～1975年
クメール共和国時代
王政の廃止、共和制政権の樹立

4 1975年～1979年
民主カンボジア時代
クメール・ルージュによる
ポル・ポト政権を樹立

5 1979年～1989年
カンボジア人民共和国時代
ベトナム軍の侵攻。
クメール・ルージュ(ポル・ポト)からの開放

6 1989年～1991年
カンボジア国時代
ベトナム軍の撤退

7 1991年～1993年
国連カンボジア暫定統治時代
国連カンボジア暫定統治機構と
カンボジア最高国民評議会による国家体制

8 1993年～現在
カンボジア王国
現在のカンボジア王国



国旗の色の表す意味は？

それぞれの国旗を見てもらうと、赤色および青色が多く使われているのがわかります。その色にも意味があるん



- ① **D** ② **E** (**G** でもよい) ③ **B** ④ **A** ⑤ **F** ⑥ **H** ⑦ **C** ⑧ **G** (**E** でもよい)

カンボジア王国は、見てわかるとおり国旗の中央に世界遺産であるアンコール・ワットが描かれている国です。アンコール・ワットがカンボジアの歴史・文化・伝統・風土を凝縮する存在で、クメール民族の魂であり、アイデンティティであるからです。



やまもと まや

カンボジアの歴史をのぞいてみる

先史期
(B.C.4000年以前～)

プレ・アンコール期
(1世紀～)

アンコール期
(802年～)

ポスト・アンコール期
(1431年～)

フランス植民地期
(1863年～)

カンボジア王国
独立時代
(1953年～)

クメール共和国
(1970年～)

民主カンボジア時代
(1975年～)

カンボジア
人民共和国
(1979年～)

カンボジア国
(1989年～)

国連カンボジア
暫定統治機構
(UNTAC)
カンボジア最高国民
評議会統治時代
(1991年～)

カンボジア王国
(1993年～)

カンボジアはアンコール期(802～1431年)が最も栄えて勢力が拡大した時代であり、この時代にアンコール・ワットが建立されました。

その後、タイ、ベトナムに侵攻され、その侵攻から逃れるためフランスの植民地になりました。

第二次世界大戦初期の1940年頃、日本がカンボジアへ進駐したことによりカンボジアは独立を果たしましたが、日本の敗戦により再びフランスの支配下におかれることとなりました。

1953年11月9日、国王シハヌークにより完全独立を果たしました。

1960年代初頭、カンボジアは「平和の島」となり、首都プノンペンが「東洋のパリ」と呼ばれ、東南アジアで最も魅力的な都市となりました。

1970年3月、ロン・ヌル将軍のクーデターによりクメール共和国となりました。

ここから悲惨な内戦の時代が繰り返されていくこととなりました。

シハヌークが結成したカンプチア民族統一戦線とポル・ポト主導のクメール・ルージュとで手を結び、政権奪回を画策。カンボジア人勢力同士の対立激化、カンボジア社会の混乱・疲弊

クメール・ルージュがロン・ヌル政権を打倒し、民主カンボジア政府を樹立。最高幹部のポル・ポトは、首都プノンペン制圧。

全プノンペン市民を24時間以内に市外へ退去、その後1週間以内に各都市で住民の強制退去
人々は農村に集められ、強制労働
あらゆる私有財産は否定、通貨廃止、あらゆる宗教も否定、寺社破壊
徹底したクメール・ルージュの政治思想教育
僧侶、医師、教師など知識人の大虐殺(当時人口800万人のうち100万人以上が死亡)

その後、ベトナムと対立を深め、プノンペン陥落。カンボジア人民共和国樹立。

カンボジア人民共和国は、反ベトナム勢力のシハヌーク派、ポル・ポト派、ソン・サン派の三派による民主カンプチア連合政府と対立し、内戦状態となりました。

1989年、ベトナム軍のカンボジア完全撤退。カンボジア国誕生。

1991年カンボジア和平パリ協定により内戦終結。

新政権樹立まで、カンボジア最高国民評議会と国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)による統治。

1993年5月、総選挙実施。フンシンペック党と人民党による連立政権発足。シハヌークが王位就任。新生「カンボジア王国」誕生。

1998年7月の総選挙にて人民党が第一党となり、フン・センが首相に就任。以降、現在に至っています。

す。赤色は国民の血を、青色は国王を表しています。また、アンコールワットが白く描かれているものがありますが、白色は宗教を表す色として表現されています。

やっぱりアンコール・ワット！？

① カンボジアといえば、世界遺産にも登録されているアンコール遺跡群が非常に有名ですね。アンコール遺跡群のひとつとして名高いアンコール・ワットには多くの人々が世界中から訪れます。

みなさんは、アンコール・ワットを知っていますか？ アンコールワットというのは... (P.16)
それでは、アンコール・ワットについてのクイズです。(こたえと解説はP.15～P.16)

① 次のうち、アンコール・ワットってどれ？

A



B



C



② アンコール・ワットは、何年くらいかけてつくられたと思いますか？

A

10年～20年くらい

B

30年～40年くらい

C

90年～100年くらい

③ なぜ、アンコール・ワットはつくられたと思いますか？

A

みんなが住める町として使うため

B

大きな公園として使うため

C

国王の支配体制を確立し、国王の力を示すため

④ アンコール・ワットをつくるために、毎日何人くらいの人々が働いていたと考えられていると思いますか。

A

約100人

B

約1,000人

C

約10,000人

⑤ アンコール・ワットの見取図です。(P.14下) アンコール・ワットは3重の回廊でできており、一番外側を第1回廊、その次を第2回廊、そしてとても急な階段を登ったところに一番内側の第3回廊があります。一番外側の第1回廊の壁には、8つの物語がそれぞれ描かれています。

次のA～Hは、P.14下のアンコール・ワット平面図のA～Hの場所にそれぞれ描かれている壁画の物語とその内容です。では、P.14のA～Hは、A～Hのどの物語を表現している壁画の写真だと思いますか？いろいろ調べたり想像したりして、A～Hの にあてはめてみましょう。

物語のタイトルとその内容

A

マハーバーラタ物語

ラーマヤナ物語と並ぶインドの2大叙事詩のひとつで、王族家同士の争いの物語です。両家の激戦模様が描かれています。

B

スールヤヴァルマン二世の行進(偉大な王の歴史回廊)

アンコール・ワットの創設者である王の軍隊の行進の様子が描かれています。ここは歴史回廊と呼ばれ、神話ではなく現世を描き、国王の権威と功績などの偉大さを表現しています。

C

天国と地獄

壁面を3つに分け、一番上に天国、真ん中にエンマ大王の裁定の様子、一番下に地獄が描かれています。

D

乳(にゅう)海(かい)攪拌(かくはん)

ヒンドゥー教の天地創世神話でアンコール・ワットの壁画の中で最も有名なものです。不老不死の薬を作るため、善の神々と悪の阿修羅が大蛇を引っ張り合って海中をかき回し、海から不老不死の薬を手に入れるという物語です。

E

ヴィシュヌ神と阿修羅の戦い

ヒンドゥー神話の一節で、神々たちは象の引く馬車や獅子、鹿などに乗って阿修羅軍と戦い、勝利するという物語です。アンコール・ワット建造当時は未完成でしたが、16世紀半ばに完成したとみられています。

➡ P.14につづく

F クリシュナとバーナの戦い
 ヴィシュヌ神の化身が阿修羅王を征伐する物語です。16世紀に中国人らが完成させたとされています。

G 神々と阿修羅の戦い
 不老不死の薬を手に入れるための神々と阿修羅軍との戦闘シーンが描かれています。

H ラーマーナ物語(ランカ島の戦い)
 マハーバーラタと並ぶインドの2大叙事詩のひとつで、ラーマ王子が妻シータを救うため、猿軍の援護を得てラーヴァナ軍と戦っている様子が描かれています。ちなみにこの猿軍の猿王は、みんなが知っている中国での孫悟空なのです。

ア



イ



ウ



エ



オ



カ



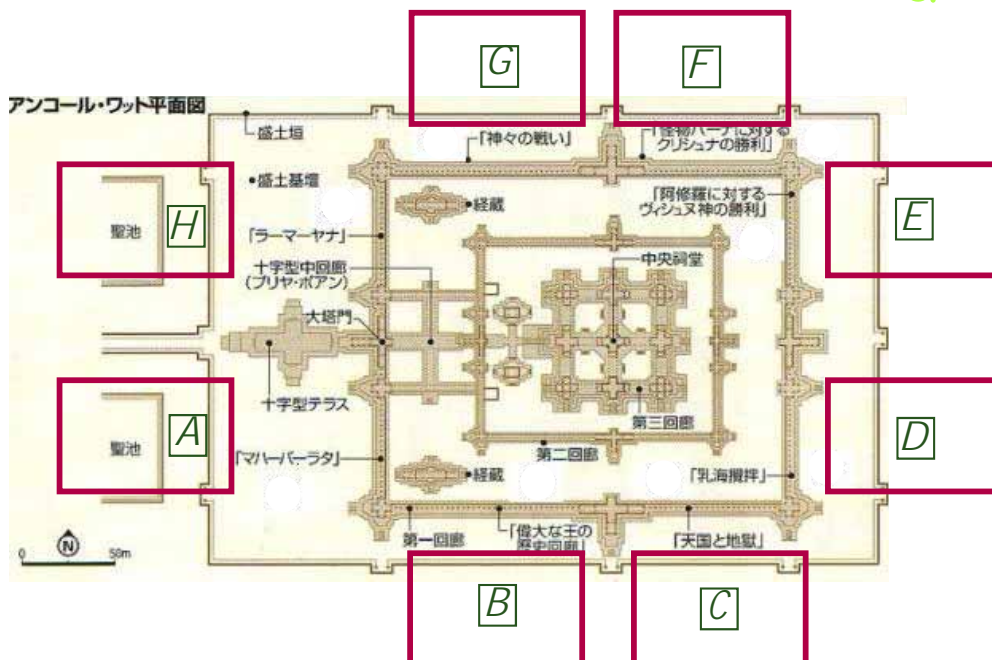
キ



ク



「とんでもとらべる」ウェブサイト



→ ことえと解説はP.15



1 B

A は、中国の『万里の長城』です。C は、タイの『古都アユタヤ』(アユタヤにあるワット・プララーム)です。

2 B

12世紀前半(1113年頃)からおよそ30年くらいかけて建造されました。

3 C

王の支配体制を確立するために、王権を神格化させて巨大な都を造り上げることで力を誇示する必要があったためです。

第18代王スールヤヴァルマン2世は、アンコール・ワットを造ることで王権を神格化させました。中央の祠堂は世界の中心の山で神々が住むメール山(須弥山(しゅみせん))を象徴し、周囲の回廊などは雄大なヒマラヤ連峰を、周りのお濠は無限の大洋を意味しています。中央祠堂には、ヒンドゥー教三大神の一つであり太陽の光の神格化と考えられていたヴィシュヌ神が降臨し、王と神が一体化する神聖な場所だとされていました。また、このアンコール・ワットの中心部にある十字回廊には四つの池があり、これはアンコール・ワットが王国の農業を支える治水技術を示す宗教施設であったともいえます。

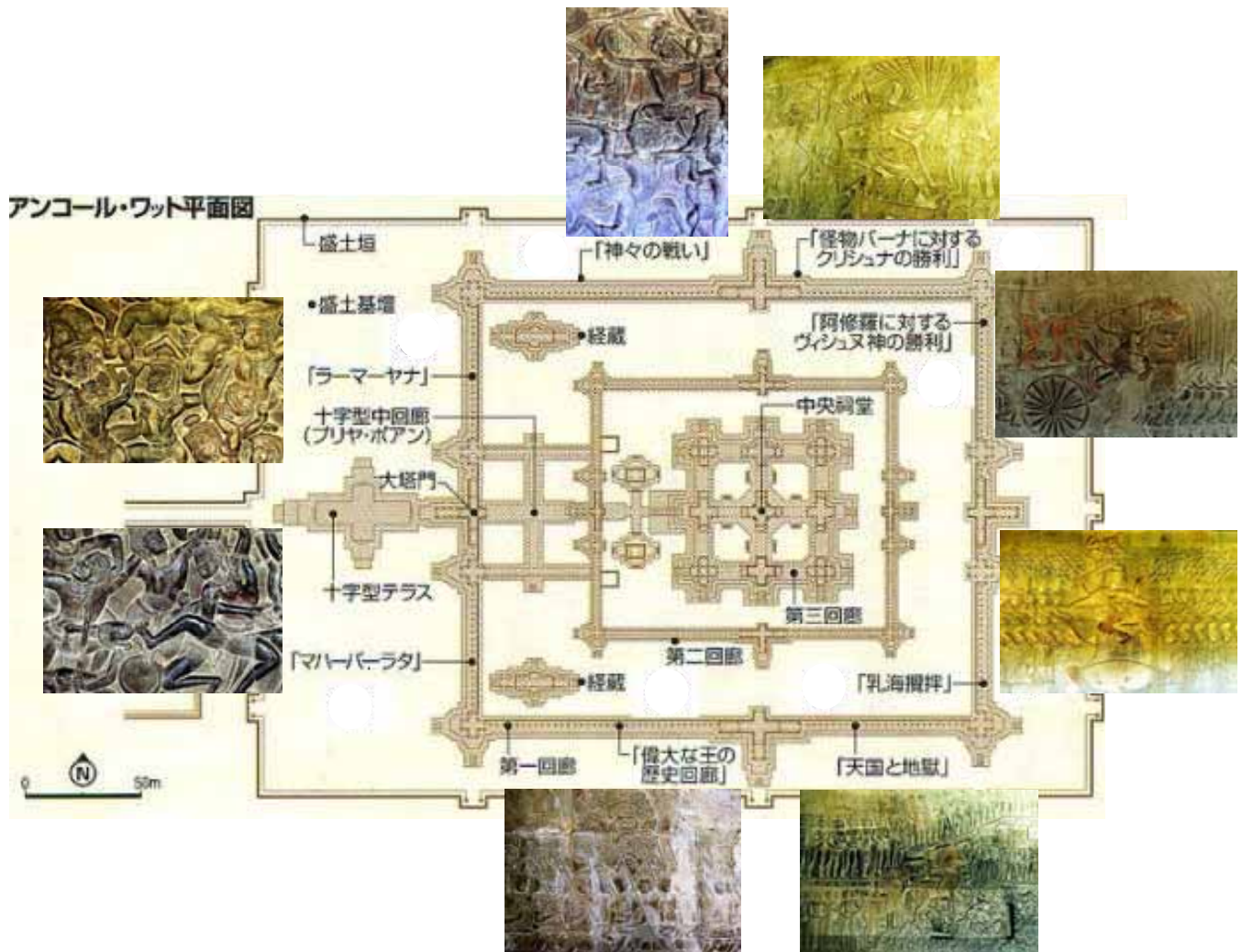
4 C

毎日、9,000人～10,500人が労働していたと考えられています。

ちなみにアンコール王朝の都市人口は、この巨大寺院の建設に携わった人員の試算から推定すると、毎日労働していた9,000人～10,500人と、それを支えるためにはさらに50万～60万の人口が必要であったと考えられています。

5 A

カ B イ C ク D エ E ア F キ G ウ H オ



アンコール・ワットって？

12世紀にアンコール王朝のスールヤヴァルマン二世により築造され、南北約1.3km、東西約1.4kmの濠で囲まれているヒンドゥー教の巨大石造寺院です。死後に王と神が一体化するという思想のもとに造られた神聖なる建造物です。アンコール・ワットのアンコールとは「王都」、ワットとは「寺院」のことを示します。すべて石造りで、左右対称であるこの巨大な寺院は、クメール建築の最高傑作といわれています。周囲は環濠に囲まれており、中には参道や回廊、中央塔、そして回廊の壁には緻密な壁画があります。

眠り続けていたアンコール・ワット

アンコール・ワットはとても大きく立派な建造物でありながら、長い間密林の中に眠っており、その存在を知られることはありませんでした。いったいなぜこんな大きなものが長い間、誰にも知られず眠り続けていたのでしょうか？それは…。

アンコール・ワットは、1860年にフランスの探検家アンリ・ムオが動植物の調査のためにジャングルに入って、偶然発見されました。カンボジア人の中では、昔からアンコール・ワットについての伝説が語り継がれてきましたが、スールヤヴァルマン2世がつくったものではなく、伝説上の王プレアハ・ケート・ミアリアが造ったものとされており、ただの伝説と考えられていました。また、価値ある文献史料は遺跡に刻まれた碑文だけでした。当時カンボジア人はその碑文が読めず、アンコール・ワットの価値がわからなかったため、忘れ去られた存在になっていったのです。

アンコール・ワットの建築技法

アンコール・ワットは、巨大な石造寺院であり、クメール建築の頂点であると言われ、単一の宗教建築物としては世界最大級の規模を誇っています。クメール建築では、神のための宗教建築は耐久性のある砂岩やレンガで、人間である王の宮殿は自然の恵みを象徴する木で、というように材料を分けて造っていました。砂岩やレンガを積み上げて造る石造建築は、技術的に大きな建築物が造りにくかったため、石をつなげて造る手法を採って、このように大規模に造り上げました。

また、アンコール・ワットは中央に位置する「中央祠堂」を中心に三重の回廊が巡っていますが、中央に行くにしたがって基壇が段階的に高くなるピラミッド型で造られており、その3つの回廊を絶妙に配置することや完璧な左右対称性を追求していることで、一つの大きな建物に見えるよう視覚的工夫がなされていることが最大の特徴です。

アンコール・ワットは、参道をたどって最後に一番重要な中心の空間に近づく建築手法が採られていますが、これは実は、長い参道の一番奥に神殿のある日本の神社建築と共通した建築手法であると言えるのです。

アンコール・ワットの危機！？

アンコールワットを始めとするアンコール遺跡群は、1992年世界遺産リストに登録されました。それと同時に、内戦の影響による遺跡破壊、彫像などの盗難や略奪、自然風化などにより、「危機にさらされている世界遺産リスト」にも登録されました。しかし、日本やフランスを始めとする各国の遺跡修復への協力とカンボジアの人たち自身の努力により、2004年に「危機にさらされている世界遺産リスト」から解除されました。

解除されましたが、しかし、今もなお遺跡修復は続いています。アンコール遺跡では、外国人の組織による遺跡修復や考古発掘作業をしばしば見かけます。この限定された一つの地域にこれほど多くの外国人チームによる活動が見られるのは珍しいと言えますが、それだけアンコール遺跡が魅力的なのでしょう。今後、観光客の増加によるごみの増加や遺跡周辺開発による自然環境の激変も懸念されます。「遺跡・人・自然」の共生が、アンコール遺跡を活かすべき方向性と言えるのではないのでしょうか。




アンコール・ワット




アンコール・ワット第一回廊



アンコール・ワット上空からの写真。
上から見たアンコール・ワットは壮大で、時間を忘れさせてくれます。

 カンボジア政府観光局

 やまもと まや

カンボジアの日常生活をのぞこう！

えっ！？それって、ウソ？ホント？

① ところで、みなさんはカンボジアのこと、どのくらい知っていますか？



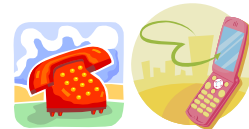
① カンボジアには鉄道が通っていない。



② 雨季になると面積が3倍以上大きくなる湖がある。



③ カンボジアは、固定電話よりも携帯電話の数が多かった最初の国です。



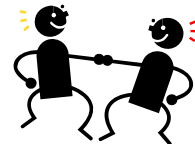
④ カンボジアにも、日本と同じように怪談話がある。



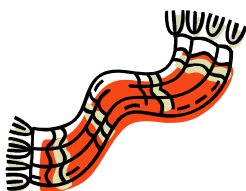
⑤ タイ・ベトナムと隣り合っているため、カンボジア料理は、タイ料理と同じぐらい辛く、ベトナム料理と同じぐらい香草を使う。



⑥ カンボジアの伝統文化である「アプサラダンス」や「影絵芝居(スバエク)」は長かった内戦により途絶えてしまっている。



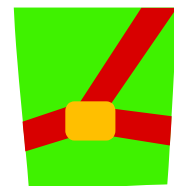
⑦ 「クロマー」と呼ばれるカンボジア式スカーフは大切な行事のときに着けるものである。



⑧ カンボジアでは占いが信じられており、生活を支える役割を果たしている。



⑨ 現在、カンボジアでは道路交通法がなく、シートベルト着用やオートバイのヘルメット着用の義務はない。





P.17のこたえと解説です。



カンボジアの意外な面を知り、異文化を学ぼうワクワク感を体感しましょう。

- 1 **×ウツ** カンボジアの鉄道は北線(386キロ)と南線(264キロ)からなっています。内戦により線路や車両の状態は悪く、運行速度は時速20～30キロ程度です(建設当時は時速70～90キロくらいでした)。現在、北線の旅客輸送は2日に1往復のみです。参考に鉄道運賃は、
1米ドル 100円 約4100リエル(2008年11月現在)
外国人は一律80リエル/kmです。

0kmから100kmまで	45リエル/km
100kmから200kmまで	43リエル/km
200kmから300kmまで	40リエル/km

遺跡以外のカンボジアを旅する本『トーマダー』

- 2 **ホント** シェムリアップ州南東部のトンレサープ湖です。雨季(5月下旬～10月下旬頃)になりメコン川の水位が上がってくると、メコン川の水圧に押されたトンレサープ川は逆流し、トンレサープ湖に向かって流れ込むようになります。川は高い所から低い所へ流れていくのに、この時期は低い所から逆流して高い所へ流れ、トンレサープ湖の水位は、乾季の4～5月には1～2メートルですが、雨季のピーク時には10メートルにも上昇します。この逆流現象によってトンレサープ湖は乾季の2,500～3,000km²から3倍以上に拡大し、1万km²を超えることとなります。



トンレサープ湖

日本アセアンセンター
©ASEAN-Japan Centre

- 3 **ホント** 2005年には、携帯電話を持つ人は1,000人のうち75人で、カンボジアは固定電話よりも携帯電話の数が多かった最初の国です。

- 4 **ホント** カンボジアにも日本と同様にあります。例えば、「半人半妖」のアーブは、古くからカンボジアで語り継がれ、映画やテレビドラマ、出版物に取り上げられたり、目撃情報が新聞で報道されたりすることもあり、カンボジアでは広く知られた存在です。日本では、昔から伝えられている怪談話というだけですが、カンボジアで日常生活を取り巻く複雑な霊的存在には宗教的な要素が入っており、信仰深いカンボジア人に広く信じられています。

- 5 **×ウツ** タイ料理ほど辛くなく、ベトナム料理ほど甘くなく、香草を使っていないので比較的日本人にも食べやすいようです。甘酸っぱい味(酸味)が特徴で、ハーブの香り・酸味・甘味を絶妙なバランスで味わえるのがカンボジア料理です。主食はお米で、魚を使った料理や調味料が多いのも特徴の一つです。中国の影響も受け、朝ご飯にはよく麺類を食べます。また、カンボジア人は甘い物が大好きなので、ココナッツミルクを使ったカンボジアンスイーツも多くあり、南国フルーツも豊富です。(P.25)

- 6 **×ウツ** アプサラダンス…9世紀頃に生まれた宮廷舞踊で、アンコール遺跡のレリーフにも数多く登場します。アプサラは「天女・天使」、踊りは神への祈りとして捧げられるものでした。「アプサラ」の踊り子は王室古典舞踊学院で養成されていましたが、ポル・ポト時代に300人を超す先生や生徒のうち90%が処刑され、振り付けが記録された書物もほとんどが消失しました。しかし、難を逃れた数人の先生によって伝えられてきたのです。(P.19)

スパエク(影絵芝居)…カンボジアに古くから伝わる影絵芝居です。この伝統芸能は、ポル・ポト時代に根絶してしまいましたが、1990年代半ば頃からようやく復活が始まり、現在ではレストランなどでも見ることができます。(P.19)

- 7 **×ウツ** クロマーは「カンボジア式スカーフ」「おしゃれな手ぬぐい」といった感じのものでマフラーくらいからバスタオルくらいの大きさです。柄もいろいろありますが、一番多いのがチェック柄。汗拭きに使ったり、帽子代わりに首や頭に巻いたり、腰に巻いたり、使い方はそれぞれです。日常的によく使われているのは綿製で、よそゆきにはシルク製のクロマーが使われています。



クロマー

- 8 **ホント** カンボジアでは、農村部・都市部ともに占い師が活躍しており、人々の生活を陰で支える役割を果たしています。全てのカンボジア人が占いを好むというわけではありませんが、多くのカンボジア人が占いを好むのは、仏教を信仰する古くからの習慣とも言えます。

- 9 **×ウツ** 2007年2月に「新道路交通法」が成立し、同年9月に施行されました。「車両の運転席と助手席のシートベルト着用義務化」「バイク・オート三輪・トゥクトゥクのヘルメット着用義務化」「運転中の携帯電話の使用禁止」などがあります。何だか日本の道路交通法に似ていますが、実際には守られていないのが現状です。
 在カンボジア日本国大使館ウェブサイト『日本人の皆様へ～新道路交通法施行に関する注意～』



プチ・フォトミュージアム



スパエク

カンボジア政府観光局



アプサラダンス

スパエクのスクリーンの裏側はこんな感じ



やまもと まや

カンボジアのお坊さんです。運がいいとアンコール・ワットでお坊さんの参列を見ることができます。



(下)シムリアップ最大の市場(プサー・ルー)に向かう一番にぎわう国道6号線。通勤や移動の人たちで、活気に満ちあふれています。

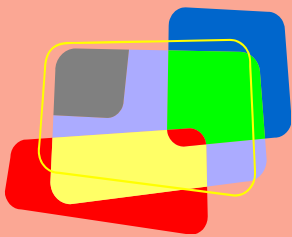


やまもと まや



第2章

へえ～！カンボジアと日本



カンボジアと日本、似てるゾ!?

この「民話」っ! この「ことわざ」っ!

① ...

カンボジアにも日本の民話に似た話があります。

1

A

B

C

D

2

A D

a d

a

b

c

d

カンボジアにも日本と同じ意味をもつことばがあります。

3

E

F

G

H

I

4

e i

e

f

g

h

i





1 A 「いなばの白ウサギ」

B 「ウサギとカメ」

C 「かちかち山」

D 「古屋の漏り」

2 A d B a C c D b

3 E 四面楚歌

F 自画自賛

G 鬼の居ぬ間に洗濯

H ネコに鯉節

I 火のないところに煙は立たぬ

4 E h F g G e H i I f

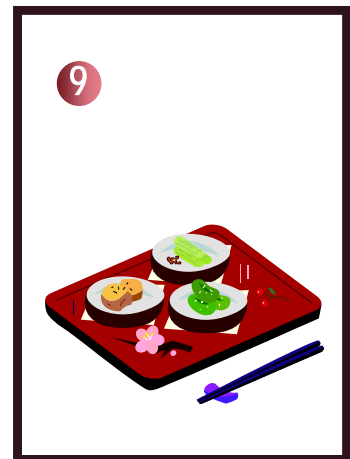
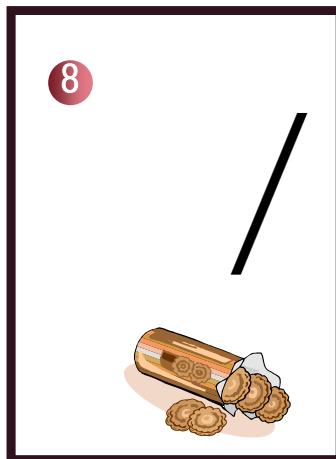
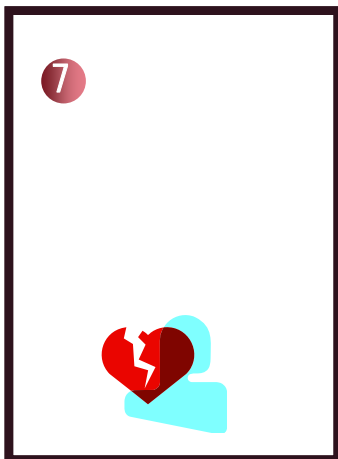
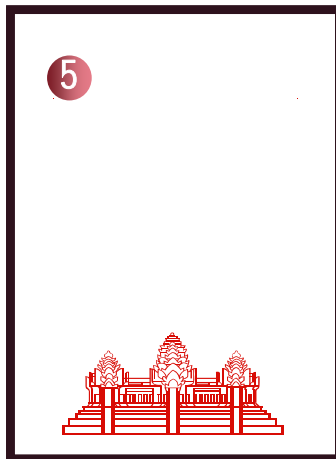
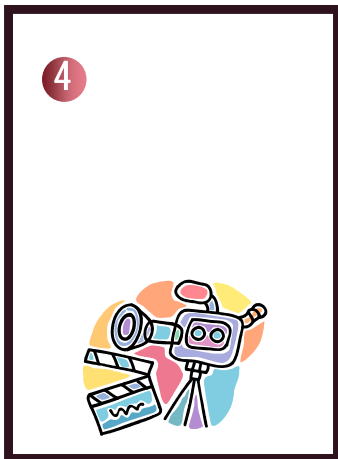
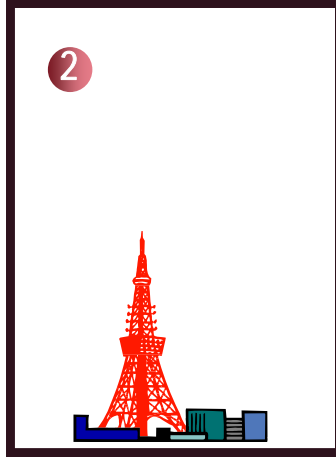
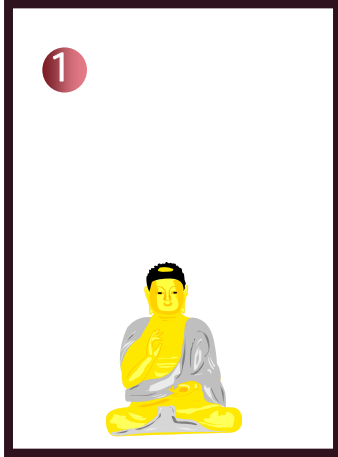
カンボジアの民話



カンボジアと日本

へえ～

これって、ウソ？ホント？





1 ホント

2 ホント

3 ホント

4 ホント

5 ホント

6 ホント



墨書



7 ×
ウソ

8 ホント

9 ×
ウソ



タ・プローム



観光ストリートには、日本語や韓国語の文字が！日本語を話せる店員さんもいて、英語が苦手な人でも大丈夫!?





ちょっとブレイク



万博こぼれ話

こぼれ話その1

こぼれ話その2

0

0



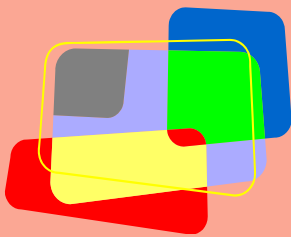
カンボジア料理 & アンコールクッキーの店





第3章

一緒に考えよう！こんな課題



内戦の負の遺産 でも魅力いっぱいカンボジア



1



400 600

20

4

8

1/5

9

3 17

2

3

A



B



C



4

素敵だなと思うところ

課題だなと思うところ

5





内戦がカンボジアにもたらしたもの

—

カンボジアの魅力

誇れるところと課題

...

カンボジアのためにできること

～ 日本が行ってきた軌跡をたどって～



1

2

3

4

A

B

C

D

E

アンコール遺跡の修復。カンボジアの遺跡のほとんどは、ラテライトという茶褐色の石でできています。



5





1

NGOとは

NPOとは

2 国際協力の必要性

3

2

4

第1位 E

第2位 B

第3位 C

第4位 D

第5位 A



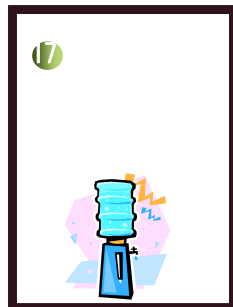
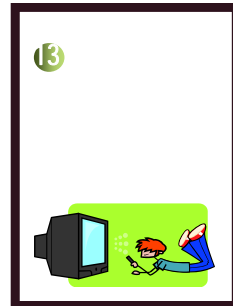
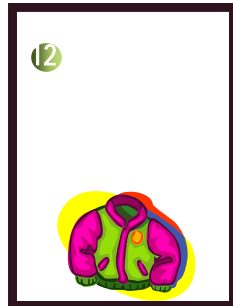
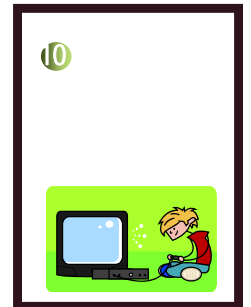
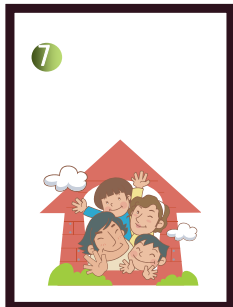
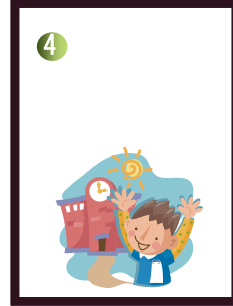
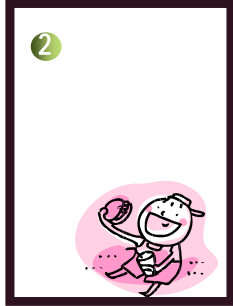
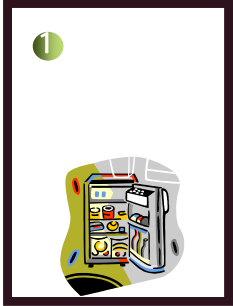
0

5

『幸せ』って何だろう？



1



2

3





「幸せ」って何だろう？ ～幸せは人それぞれ～



人間が生きていくために「必要なもの」と「あるといいなと思うもの」

「幸せ」の価値観は人それぞれで、必ずしもモノがあふれるほど豊かであればいいというものではありませんが、人間が人間らしく生きていくために最低限「必要なもの」というのはあります。例えば、 のカードの中で、家や食べ物最低限必要なものですが、ゲームや携帯電話が必要かどうかは個人の価値観によって異なります。

わたしたちの生活基盤を構成する基本的な要素として、最低限必要な衣食住、教育、医療衛生、生活基盤などは、どこの国の人にとってもどんな人にとっても守られるべきものです。これをBHN(、人間の基本的な生活要求)と呼びます。このBHNを満たすのに最低限必要な水準は 日ドルの暮らしと言われていますが、 日ドル以下で生活している絶対的貧困と呼ばれる状態の人は世界で12億人、 日ドル以下で生活している人は 億人以上、安全な水を得ることができない人は 億人、 億 万人以上が十分な食糧を得ることができないなど、基本的人権であるBHNが守られていない人々がこの地球にはたくさんいるという現状があります。カンボジアにおいても貧困の差が拡大しており、1日1ドル以下で暮らす人々が人口の %を占めています(年)。





プチ・フォトミュージアム



水上マーケット



砂場で無邪気に落書き遊びをする子供たち。日本ではあまり見られなくなった光景です。



町でよく見られる光景です。今でも牛車が活躍しており、観光客がよく利用します。

牛の放牧は子どもたちの仕事。その合間で上手に遊びを見つけます。



アンコール・ワットの回廊の中にいたおばあさん。手首足首がなく、貧しいながらも物乞いをする事なく、たくましく生きています。



水上レストラン



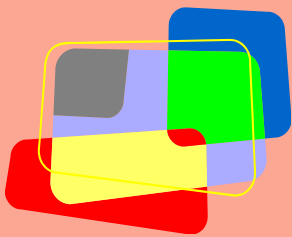
地雷博物館





第4章

そして未来へ

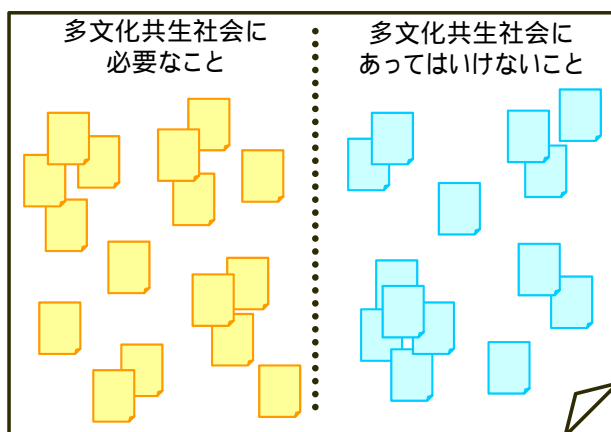


『多文化共生社会』ってどんな社会？

① 地球のみんなが一緒に生きていくということは
どうのことなのでしょう？



- 1 みなさんは、『多文化共生社会』ということばを聞いたことがありますか？
「多くの文化が共に生きる社会」というのは、いったいどんな社会でしょう？
「多文化共生社会に必要なこと」を黄色い付箋紙に、「多文化共生社会にあってはいけないこと」を青い付箋紙に書き出してみましょう。付箋1枚に1項目ずつ、できるだけたくさん書いてみてください。
- 2 4～6人のグループに分かれましょう。
各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「必要なこと」、右側には「あってはいけないこと」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。



- 3 模造紙にまとめたことをもとにグループで「多文化共生社会とは……な社会」という文章をつくってみましょう。
- 4 では、そんな社会を実現するために、私たちにできることは何でしょう？
一人ひとり、A4の紙に「私たちにできること7か条」を書いてみましょう。
- 5 一人ひとりがつくった7か条をもとに、グループで「多文化共生社会を実現するための7か条」にまとめ、右のように模造紙に書いてみましょう。
- 6 全員で発表し、感想を話し合しましょう。

多文化共生社会とは
な社会

そんな社会を実現する
ための7か条

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

号外！号外！20年後の新聞です



20年後の地域と地球はどうなっているでしょう？
どうなっているといいでしょう？

みなさんは新聞記者です。20年後の明日発行する新聞記事を書いているところです。
20年後はどんなニュースが新聞に載っているでしょうか？ だれにでもわかりやすいことばでまとめてみましょう。

- 1 まずは、グループで新聞名を決めましょう。
模造紙を横にして半分に区切り、
新聞名と日付を書き込みましょう。

20xx年 月 日	20xx年 月 日

新聞

- 2 20年後地域と地球がこんな風になっている
といいなと思うことを想像し、ニュース記事に
まとめてみましょう。模造紙の右半分に地域のニュースを、左半分に地球のニュース(あるいは、カンボジアの
ニュース)を書きます。

- 3 全員で発表し、感想を話し合ってみましょう。

- 4 さて、今の生活を続けていったとき、ニュースにまとめたような地域や地球が実現できると思いますか？
実現するために、自分がやろうと思うことを1つ決めて、グループで共有しましょう。

多文化共生社会

1990年の入管法改正により、主に南米からの日系人が多く日本に住むようになりました。近所や学校、職場に外国籍の方がいるのがあたりまえの状況の中でことばの問題、文化・生活習慣の違いからくるトラブル、子どもたちの教育問題、近年の経済悪化による雇用の問題などさまざまな課題が生じています。そうした課題に取り組む中で目指しているのが、「多文化共生社会」の実現です。この「多文化共生社会」とは、「国籍にも、性別にも、年齢にも、障害の有無にも関わらず、すべての人が暮らしやすい社会」と位置づけられています。愛知県が2008年にまとめた「多文化共生推進プラン」では、愛知がめざす多文化共生社会を「国籍や民族などのちがいににかかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会」としています。そうした社会を実現するために、2006年には、総務省から各自治体に向けて「地域における多文化共生推進プラン」が出されました。その中では、特に外国籍住民も暮らしやすい社会を創るために、次のようなことに取り組んでいくと書かれています。

コミュニケーション支援

多言語による情報提供、相談窓口の設置、日本語学習の支援など

生活支援

入居差別の解消、教育にかかる情報提供、進路指導、就業支援、就業環境の改善、外国語対応可能な病院・薬局等の情報提供、医療通訳者の派遣、健康診断・健康相談の実施、高齢者や障害者への対応、災害時の通訳ボランティアの育成、災害時の情報の多言語化など

多文化共生の地域づくり

地域住民への啓発、多文化共生の拠点づくり、外国籍住民の地域社会への参画推進など

地球的課題(グローバルイシュー)

一国では解決することが難しい、人類共通の課題を「地球的課題」「地球規模の課題」「グローバルイシュー」といいます。大きく分けると4つ、これらの課題は、包括的かつ相互的に関連しています。

地球環境

先進国の経済成長などに伴うオゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨、砂漠化、海洋汚染、ごみ問題、野生生物の絶滅など地球規模で発生している課題です。

貧困と開発

南北問題に伴う貧困、それによる食糧不足、飢餓、衛生面での問題、教育の問題、児童労働など子どもや女性など弱者にかかる問題、持続可能でない開発による環境破壊など、地球規模の構造的な課題なので、途上国だけでは解決できません。

平和と安全

核兵器や生物化学兵器など、国境に関係なく被害を及ぼす兵器の根絶、テロの問題、地域紛争の解決と平和維持、児童兵士の問題などです。

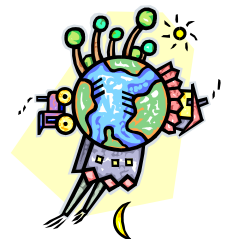
人権

民族差別や紛争などにおける難民の問題、貧困と開発のために過剰な労働を強いられる女性や子どもの問題、人間として最低限必要なものさえ保障されない極度の貧困の問題などです。

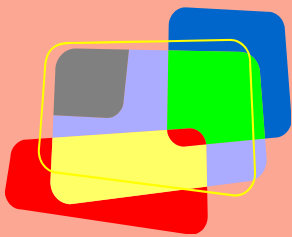
地域の課題と地球の課題はつながっている ~「持続可能な」社会を創るため~

地域の課題と地球の課題は別のものと考えてしまいがちですが、だれもが暮らしやすい「持続可能」な社会を創るという意味では共通しています。また、地域の課題を解決していけば地球の課題の解決にもつながりますし、地球の課題を解決しなければ、地域の未来もないのです。

地域の課題も地球の課題も「だれかが解決してくれる」ものではありません。途上国の多くの課題も原因を突き詰めていけば、わたしたちの日常生活につながってきます。わたしたち一人ひとりが地球の一員として、地域の一員として、自分の問題として、解決に向けて取り組んでいかなければ、次世代に課題を持ち越してしまうことになるのです。



参 考 资 料




目で見るカンボジア




世界文化遺産のアンコール・ワットを描いたこの国旗は、1970年のクーデターでいったん途絶えましたが、1993年全国で初めて行われた選挙で復活しました。赤色は国民の血を、青色は国王を表しています。

●人口●


 13.4百万人(2008年政府統計)




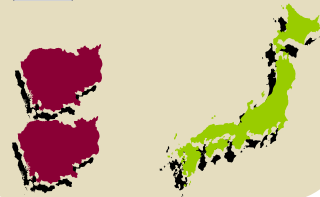
 128百万人



●面積●

 181,000km²
(日本の約2分の1弱)

 377,887km²



●言語●

カンボジア語

●宗教●

仏教

(一部少数民族は
イスラム教)

●気候帯●

熱帯雨林気候

熱帯モンスーン気候

熱帯サバナ気候

●民族●

カンボジア人(クメール人)が
90%

その他ベトナム人華僑など

●通貨●

リエル

1ドル=約4,109リエル
(2006年平均 IMF資料)

●日本との時差●

-2時間



国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken) 人口・面積・首都・民族・通貨:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」
日本の人口:世界子供白書2008(ユニセフ) 日本の面積:総務省統計局「日本の統計」
言語・日本との時差:世界の国一覧表(財団法人世界の動き社)

●主要産業●

観光・サービス (GDPの38%)
 農業 (GDPの29%)
 鉱工業 (GDPの25%)
 (2007年カンボジア政府資料)

●日本との貿易主要品目●



靴・衣類および付属品



輸送用機器 機械 (縫製用機械等)

●一人あたりのGNI●

480米ドル (2006年世銀)



38,410米ドル (2006年世銀)



●在留邦人数●

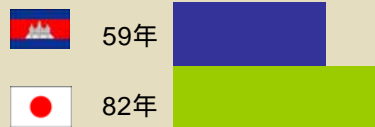
828人 (2007年10月現在)



●在日カンボジア人数●

2,263人 (2007年12月現在)

●出生時の平均余命●



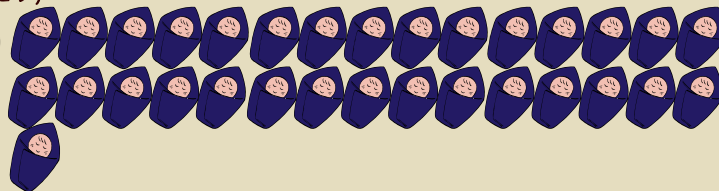
●都市人口の比率●

20% (2006年)
 66% (2006年)



●5歳未満児の死亡者数●
 (出生1000人あたり)

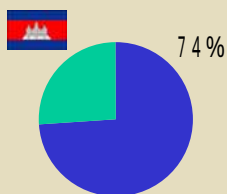
31人 (2006年)



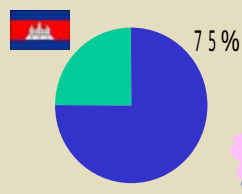
4人 (2006年)



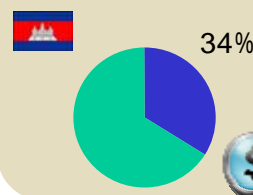
●成人の総識字率●
 (2000～2005年)



●初等教育純就学/出席率●
 (2000～2006年)



●1日1ドル以下で暮らす人の比率●
 (1995～2006年)



●人口増加率●
 (1990～2006年)

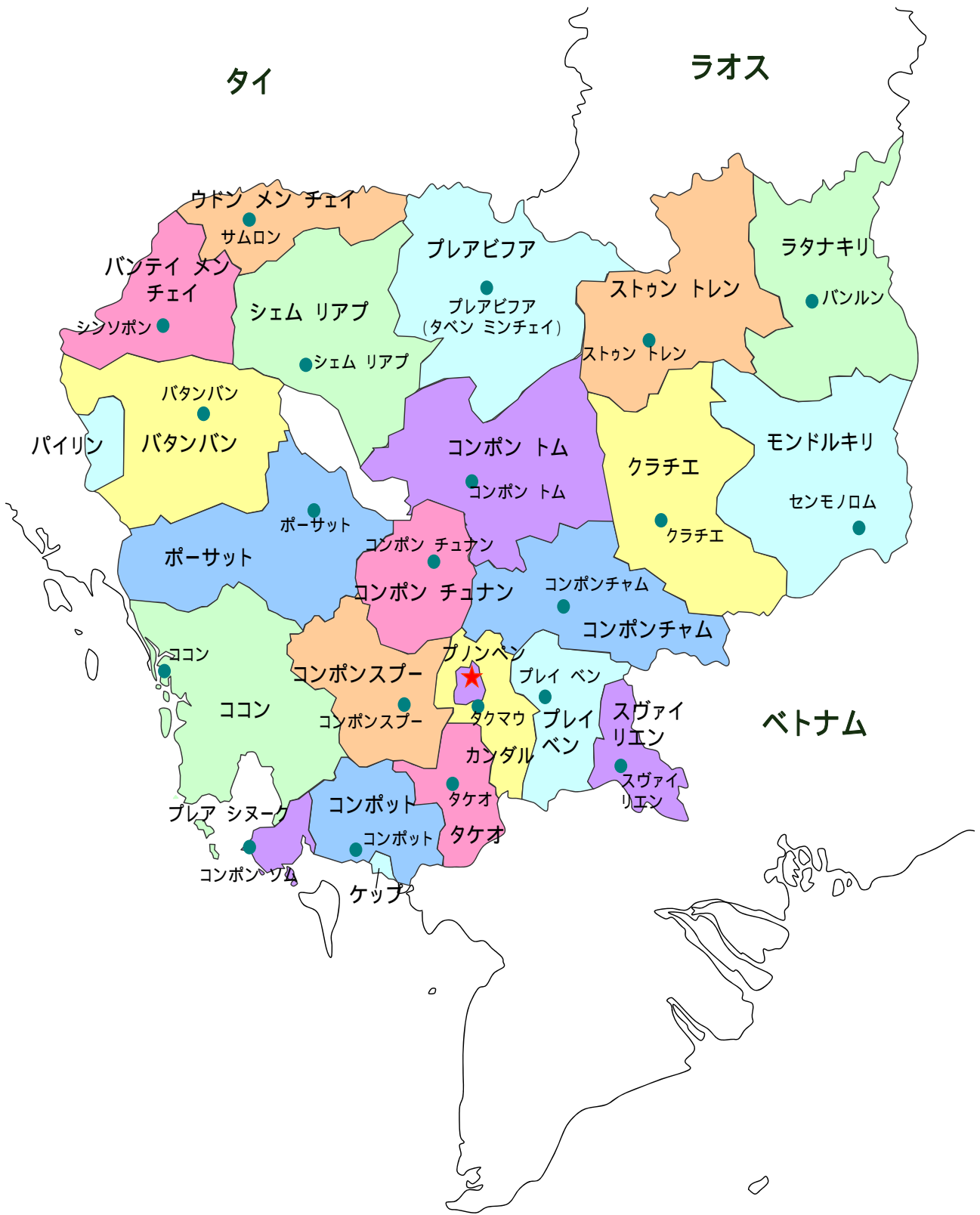
2.4%
 0.2%



主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日当該国人数・外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・1日1ドル以下で暮らす人の比率・成人の総識字率・初等教育純就学/出席率・人口増加率:世界子供白書2008(ユニセフ)

カンボジア地図







参考文献・データ等の出典

外務省「各国・地域情勢」「ODA」「キッズ外務省」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

外務省「探検しよう! みんなの地球」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>

総務省統計局「日本の統計」

<http://www.stat.go.jp/data/index.html>

財団法人日本ユニセフ協会「世界子供白書2008」

<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>

在カンボジア日本国大使館

<http://www.kh.emb-japan.go.jp/>

JICA 独立行政法人 国際協力機構 国別取組み-カンボジア

<http://www.jica.go.jp/cambodia/index.html>

カンボジアウォッチ

<http://www.cambodiawatch.net/>

神戸市北区ウェブサイト

<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/85/tiiki/co04-8.html>

『カンボジアを知るための60章』上田広美・岡田知子(編著)(明石書店)

『はうとぅ@(アット)かんぼじあ(2007年1月号)』(アドフューズコミュニケーションズ)

『地球の歩き方 アンコール・ワットとカンボジア』(株式会社ダイヤモンド・ビッグ社)

『世界の子どもたちは いま 第 期 全8巻22 カンボジアの子供たち』(学習研究社)

『講談社の世界遺産BOOK 世界遺産 なるほど地図帳』(講談社)

『おもしろくてためになる「世界遺産の雑学辞典」』荻野洋一(日本実業出版社)

ご協力いただいた方たち【敬称略】

河野喜宣

山本真弥



2008年度教材作成チーム

一宮市

田原市

長久手町

幸田町

扶桑町

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 **カンボジア王国** 

2009年3月

発行 愛知県

**企画
編集** 財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-8746 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷 サンメッセ株式会社

